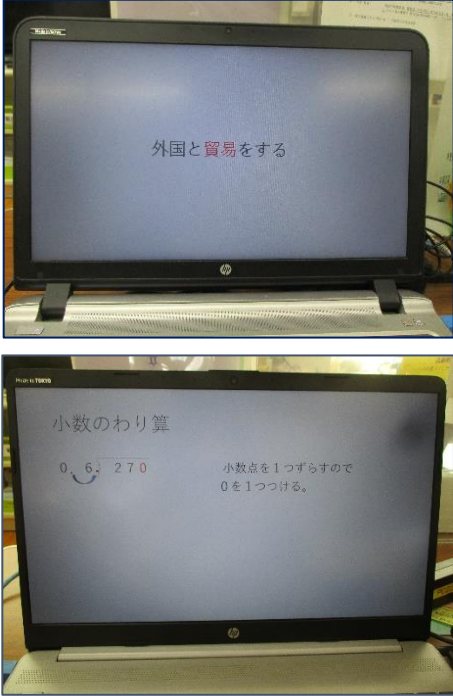


自作教具の活用事例

【作品名】 漢字・計算フラッシュカード	【学校名】 日立市立大沼小学校
【活用できる領域・教科等】 国語・算数など教科学習	【制作者名】 村上 真弓
【制作の意図】 パソコンやタブレットでの学習であると思 欲が高まる児童に、PowerPoint を使った自作 のフラッシュカードを作ることによって繰り返しの 学習ができる。 「同学年の友達に出す問題を作ろう」と呼び かけることで、楽しみながら学習をすることが 期待できる。	【使用方法】 PowerPoint で漢字、次のスライドによみがなを 入力したスライドショーを作る。文字入力ができる 児童は、自分で問題と答えを入力する。できあがっ たものを繰り返し学習に使う。 計算方法は手順ごとに1枚のシートにまとめ、 スライドショーにすると目で見て手順が分かりやす くなる。
【制作上の工夫】 漢字の読みの学習で、言葉の意味が理解しに くい児童には、イラストや写真を同時に提示す ることで、言葉のイメージがしやすくなる。	【見取り図】 手順ごとにまとめた例 小数のわり算 $0.6 \overline{) 27}$ 小数のわり算 $0.6 \overline{) 270}$ 小数点を1つずらすので 0を1つつける。 小数のわり算 $6 \overline{) 270}$ 270 ÷ 6 の計算をする。
【写真】 	【使用効果と応用発展】 漢字だけでなく計算方法の説明や問題づくり、都 道府県クイズなどフラッシュカードを用いて学習で きそうな問題を作り、出題することができる。 ローマ字が苦手だった児童が、この操作をするこ とによってローマ字入力を覚えることができ、他教 科でのタブレット使用や外国語の学習に自信をもっ て取り組めるようになった。
【材料・材質・部品等】 パソコンまたはタブレット ローマ字表（入力時必要な児童）	